

消防行政の概要について

総務省消防庁

消防の役割と組織(全体像)

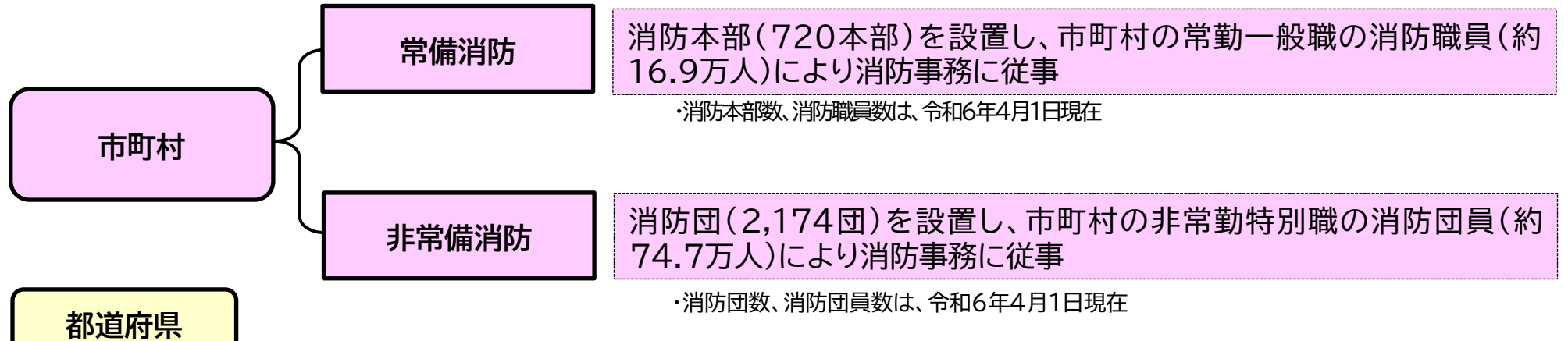
【消防の任務】

消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災 又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送 を適切に行うことを任務とする。
(消防組織法第 1 条)

■市町村消防の原則(消防組織法第6条)

* 市町村消防費

* スケールメリットを活かした消防力の強化の観点から消防の広域化を推進。



都道府県

* 消防学校の運営や消防防災ヘリコプターの運航等を実施

消防庁

○ 任務

- ・火災・自然災害・国民保護事案による被害軽減及び傷病者の救急搬送のための消防・防災制度の企画立案
- ・緊急消防援助隊の運用、特殊な消防車両や資機材、消防防災施設の整備支援
- ・消防大学校、消防研究センターの運営 等

消防の役割と組織(緊急消防援助隊)

- 大規模・特殊災害発生時において、被災都道府県内の消防力では対処が困難な場合に、消防活動を効果的かつ迅速に実施するための**全国的な消防の応援制度**
- 阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、平成7年に創設され、平成15年6月消防組織法の改正により法制化、平成16年4月から法律上明確化のうえ発足

被災県知事からの応援要請※



消防庁長官の求め又は指示



緊急消防援助隊の出動

※または、災害の規模等に照らし、緊急を要し要請を待ついとまがないと消防庁長官が認めるとき

登録隊数 6,731隊 25,731人 (令和7年4月1日現在)

<緊急消防援助隊が出動した災害対応状況>



令和6年能登半島地震
撮影:消防庁



令和6年9月奥能登豪雨
撮影:消防庁



岩手県大船渡市林野火災
撮影:消防庁

<緊急消防援助隊が出動した近年の災害>

災害名	死者・行方不明者数	活動期間	活動日数	出動隊数
平成30年7月豪雨 (西日本豪雨)	271名	H30.7.6～7.31	26日	1,383隊
平成30年北海道胆振東部地震	43名	H30.9.6～9.10	5日	197隊
令和元年8月の前線に伴う大雨による災害	4名	R1.8.28～8.31	4日	43隊
令和元年東日本台風(台風第19号)による災害	121名	R1.10.13～10.18	6日	276隊
令和2年7月豪雨	88名	R2.7.4～7.15	12日	532隊
栃木県足利市林野火災	0名	R3.2.25～3.3	7日	24隊
静岡県熱海市土石流災害	28名	R3.7.3～7.26	24日	815隊
令和6年能登半島地震	551名	R6.1.1～2.21	52日	約4,900隊
令和6年9月奥能登豪雨	17名	R6.9.21～10.3	13日	約500隊
岩手県大船渡市林野火災	1名	R7.2.26～4.7	41日	約2,400隊
愛媛県今治市林野火災	0名	R7.3.25～4.10	17日	約200隊

消防の活動・業務(全体像)

住民の安全・安心を確保するため、「通信指令」、「消火活動」、「救助活動」、「救急活動」、「火災予防」といった多岐にわたる活動を各地域の消防本部において実施。

消火活動



救助活動



救急活動



通信指令



火災予防



(出典:<https://tfd-saiyo.jp/about/overview/fire-prevention/>)

消防の活動・業務(消火活動・救助活動・救急活動)

消火活動



- 消火・延焼防止等のための活動
- 消火栓や防火水槽等から水を取り、消防ポンプ自動車等で加圧してホースで放水
- 防火衣を着装し、空気呼吸器を背負って高温の環境下で活動



消防用検定ホース
※消防ホースやポンプ、
吸管は法令で定める
規格に適合する必要

(出典:
<https://www.town.aibetsu.hokkaido.jp/01/06/06/928>)

防火衣と
空気呼吸器



(出典:<https://tfd-saiyo.jp/about/overview/disaster-response/>)

救助活動



- 交通事故などの危険を排除し、又は安全な状態に救出する活動
- 事案の内容により、装備を選択して対応
- NBC災害では、化学検知器、陽圧防護衣などの特殊資機材等を使用



化学検知器

化学検知器



陽圧防護衣

(出典:<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/ts/hyper/8hr/nbc.tool.html>)

救急活動



- 急病人等を病院へ救急搬送する活動
- 搬送経路によってはストレッチャーが使えず布担架などを使用
- 救急救命士は、気管挿管や静脈路確保(点滴)、薬剤(アドレナリンやブドウ糖)の投与なども実施



布担架による搬送

(出典:
<https://www.maizuru119.com/sbs.a.142.html>)

救急救命士による気管挿管

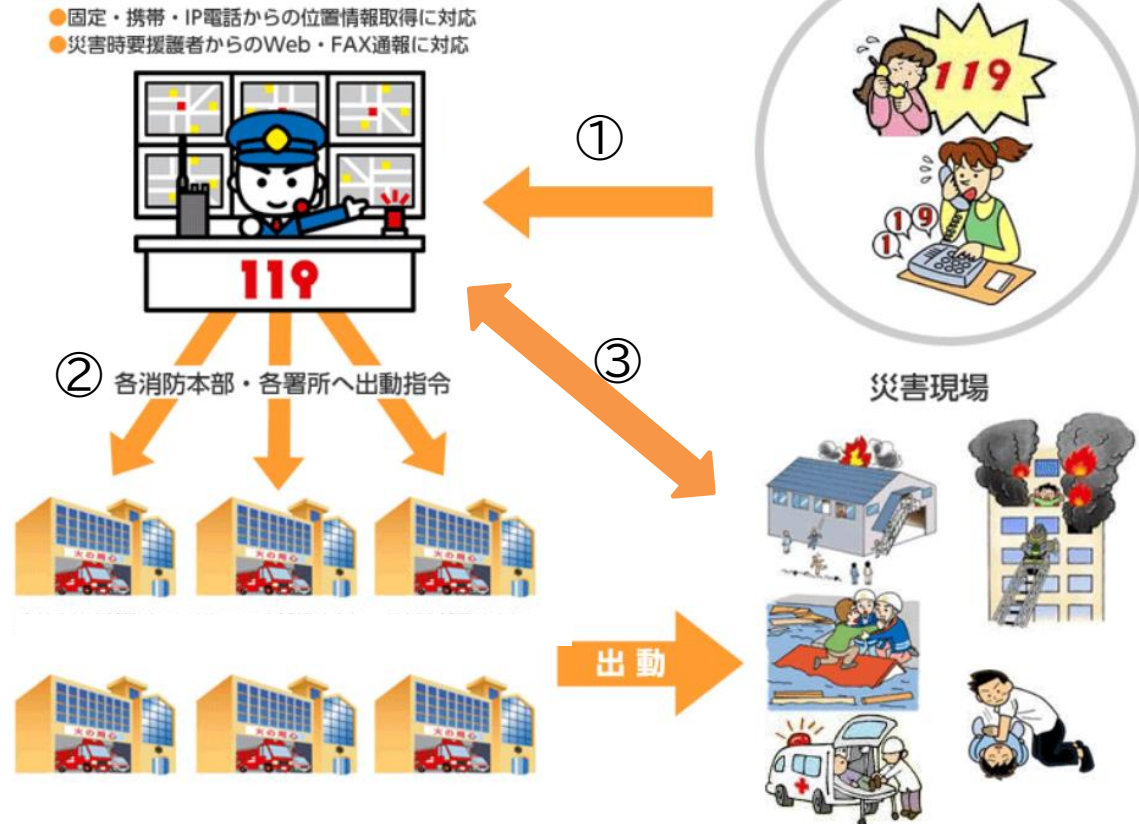


(出典:<https://www.koka-koiki.jp/contents.detail.php?co=kak&frmId=589>)

消防の活動・業務(通信指令)

- 指令センターの指令員において119番通報内容を聴取し、活動内容にあった部隊に出動を指令
- 活動が終了して消防署所に部隊が帰るまで状況を把握し、もし途中で応援が必要ならばすぐに部隊の増強を行うなど、現場で部隊が円滑に活動できるための調整を実施

通信指令



消防の活動・業務(火災予防)

火災予防



(出典: <https://tfd-saiyo.jp/about/overview/fire-prevention/>)

- 法令基準に基づき、消防用設備等や防火・防災管理、危険物施設の事故防止対策などについて確認
- 定期的に建物へ立入検査を実施
- 消防法令違反に対しては、是正命令等の行政処分を実施

建物・危険物施設の管理者等の活動

消防用設備等



(出典: <https://www.city.fukushima.fukushima.jp/yobou-shiei/bosai/shobo/shobohonbu/syoubotenken.html>)

- ・一定規模以上の建物では、当該建物の用途や規模に応じ、消火器、自動火災報知設備、スプリンクラーなどを設置
- ・大規模な建物では防災センターに総合操作盤を設置し、設備全体を監視、操作
- ・消火器、自動火災報知設備の感知器や受信機、閉鎖型スプリンクラーヘッドは、法令で定める規格に適合する必要

危険物施設における事故防止対策



- ・ガソリンスタンドのほか、化学プラントや石油タンクなど、火災危険性の高いガソリンや軽油などの危険物を取り扱う施設は、危険物施設として、法令に基づく事故防止対策が必要